

感染症情報 2月27日～3月5日

府下小児科194医療機関(堺市18)から

①感染性胃腸炎	1,108例(堺市	119例)
②溶連菌感染症	92例(堺市	5例)
③RSウイルス感染症	63例(堺市	2例)
④突発性発疹	36例(堺市	3例)
⑤咽頭結膜熱	25例(堺市	0例)

府下小児科297医療機関(堺市28)から

インフルエンザ 3,085例(堺市 260例)

報告数での順位である。前週比3.9%増の1,357件の報告数であった。感染性胃腸炎が府下で前週比1例減、堺市で前週111例→今回119例であった。溶連菌感染症が府下で37%増、堺市で前週・今回とも5例であった。RSウイルス感染症が府下で21%増、堺市は前週3例→今回2例であった。咽頭結膜熱が府下では前週比39%増、堺市で前回1例→今回0例であった。

インフルエンザが府下で前週から30%減。堺市で前週から32%減であった。定点あたり大阪府が14.74→10.39、堺市が前週13.71→今回9.29であった。

指定感染症:

【大阪府の推移】(患者報告数:大阪府感染症情報センター、陽性率:大阪府)

報告数 2/13～2/19 +9,306例、累計2,805,498例に、
2/20～2/26 +5,836例、累計2,811,334例に、
2/27～3/5 +4,576例、累計2,815,910例になっていた。

陽性率 2/15～2/21 125,351検査中、6,839件陽性、陽性率5.5%、
2/22～2/28 104,720検査中、4,611件陽性、陽性率4.4%、
3/1～3/7 98,538検査中、3,565件陽性、陽性率3.6%

(12月21日に遡り、大阪府発表の陽性者数から自己検査陽性・登録者数を引き、陽性率=医療機関での陽性者数/医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありうる)に変更した)

【堺市の推移】(9月12日の週から堺市発表の陽性者数を使い、これまでの累計数を計算している)

陽性者数 2/13～2/19 +784例、累計は228,078例であった。
2/20～2/26 +513例、累計は228,591例であった。
2/27～3/5 +442例、累計は229,033例であった。

陽性率 2/16～2/22 9,934検査中、640件陽性、陽性率6.4%、
2/23～3/1 8,512検査中、435件陽性、陽性率5.1%、
3/2～3/8 8,229検査中、450件陽性、陽性率5.5%

麻疹や風疹の報告はなかった。